

## 最初に！

なぜ岡山工業高校生の私達が災害についてのインタビューをするために岡山市役所に行ったかという、地震などの災害対策のテレビ番組を見て、私達の地域はどれくらいの災害が起きたときにどれくらいの被害が出るのだろうかと気になったからです。

そこで、岡山市役所の危機管理室に次の4つの質問をしました。

## 質問 1

**今の岡山市の避難所の運営方法や避難場所・避難所の食事などはどうなっていますか？**

まず避難所の運営方法についてです。

岡山市の判断の上、「警戒レベル3」を決定し、避難所は開設されます。

「警戒レベル4」になれば、全員逃げてください。

「警戒レベル5」では避難することも危険なため、ただちに命を守る行動をとってください。

避難所は生き延びる場所です。

支給される物資は限られているので、日常から災害に対する備えをしておく必要があります。

災害が長期化すると、市民の方々が自ら避難所の運営をします。

災害後、3日間程度で国などから支援物資が届くと言われています。

岡山ドームがその受入れの場所とされています。

避難所では、アルファ化米やライスクッキーなどが支給されます。



岡山市の備蓄物資

裏面に続く

## 質問 2

ハザードマップはどのように作っていますか？また、どのような情報が載っていますか？

＜ハザードマップの作り方＞

国や県が災害をシミュレーションして、危険度合により色分けしています。

避難所情報には、災害種別により 危ない場所に×、安全な場所に○をつけています。

＜載っている情報＞

災害が起きたときのそれぞれの避難場所や、次の情報などが載っています。

洪水の場合：浸水の深さ

土砂災害の場合：急傾斜地、危険箇所

津波の場合：浸水想定



## 質問 3

ハザードマップの見方、その活用方法、土砂災害危険区域で起こることを教えてください。

＜WEB版ハザードマップの見方・活用方法＞

- ・避難経路が本当に危なくないか確認しましょう。
- ・避難所や病院の位置を確認しましょう。
- ・住んでる地域の被害予想などを確認しましょう。
- ・職場や学校からの避難所への経路を確認しましょう。
- ・住まい探しにも活用できます。

＜土砂災害危険区域で起こること＞

- ・土石流や地すべりが起こる恐れがあります。
- ・そのときは山が唸(うな)ることがあります。
- ・地すべりが起きると山が削れ、建物や生命に多大な影響を及ぼす恐れがあります。

## 質問 4

地震が起きた時、南区周辺では液状化や地盤沈下が心配されますが、どのような啓発をしていますか？

ポスターやネットを使って啓発しています。

建物に大きな基礎杭を打ち込み建物が傾かないようにする方法がありますが、これはお金がとてめかかるので、なかなかできないのが現状です。



### インタビューを通しての感想

今回のインタビューで岡山市の災害対策がよく分かったので、家族と災害についてもう一度話し合いたいと思いました。